

# でんでん 田田 第32号

しげみ  
茂米  
(サボセンさつきお米キャラクター)



就労サポートセンターさつき  
〒039-3381  
青森県東津軽郡平内町大字茂浦字向田24番地  
TEL: 017-755-5113  
FAX: 017-755-5117

当センターは、「地域社会と協調し、創造力豊かなサービスをとおして、働く喜びを分かち合います」の理念のもと、就労継続支援B型事業、就労移行支援事業及び就労定着支援事業を実施しています。併せて、福祉サービス事業所の責務でもある地域貢献の一環として、放課後こども教室事業を平内町から受託して実施しているほか、障害の有無、年齢又は性別を問わず、日常生活に何らかのつまづきを感じている方や学習に励みたい方に対して、事業所の既存の機能を活用した「居場所の提供」と「将来の目標達成のための後方支援」を行う「すこやか生活塾」を実施しています。



就労サポートセンターさつき  
所長 須藤 和彦

令和4年度は、一般就労を目指す、又は一般就労している利用者の皆様のために就業面と生活面を一体的に相談支援する「青森障害者就業・生活支援センターすこやか」（国及び県からの委託事業）を開設しました。これにより当事業所では、働きたい利用者の皆様の未来を長く支援できる体制が整いました。

令和5年度は、増加の一途をたどる利用者数が建物の許容範囲を超えることが見込まれるため、令和6年4月に旧平内町立西平内中学校を活用して「就労サポートセンターコンドル」を開設する準備を実施します。具体的には、令和5年10月に「青森障害者就業・生活支援センターすこやか」をコンドルへ移転させ、令和6年4月には就労継続支援B型事業の新設、就労移行支援事業及び就労定着支援事業を移転させます。これにより、安全かつ快適なサービス提供及び利用希望者の受け入れを継続できるものと考えています。

当センターが数ある事業所の中から選ばれるためには、唯一無二の特色が必要であると考えています。具体的には「就労に耐える強い体作り」、「自立した地域生活のための工賃水準」、そして「地域活性化への貢献」を掲げます。まず、スポーツと食事によって体作りを推進します。地域のスポーツ大会に出場して優勝するなど、誰でも同じように晴れの舞台に立つことができる支援をします。

次に、働くことで得られる工賃を可能な限り向上させるために、収益性の高い生産活動に取り組めます。特に当センターは、地域の水田を活用した水稲栽培をはじめとして、農林水産業に取り組めます。

最後に、地域の水田を復活させたこと、地域の主幹産業であるほたて養殖業の資材加工を請け負っていること、学校は廃校になりましたがこども教室を実施していることで、地域活性化へ貢献しています。

私は、制度上の就労系サービスによって決められているサービス提供を「目的」とするのではなく、就労系サービスの提供を「手段」として、「生きていくための支援を」と「目的」とします。自立して生きていくためには、挨拶の仕方や報告の仕方だけではなく、競争社会で勝ち抜くための努力の仕方、労働と休暇のメリハリ、地域とのかかわり方など、習得すべきことは言葉では言い尽くせないほどたくさんあるからです。

今後とも皆様と一緒に発展していきたいと考えておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

## ～一般就労支援のご紹介～

### 就職専科

就職専科では、ハローワーク青森、青森障害者就業・生活支援センターすこやかとチーム支援を組み令和5年8月10日にて、JR盛岡鉄道サービス株式会社へ利用者1名が就職することが出来ました。Nさん就職おめでとうございます。今後は、青森障害者職業センターのジョブコーチ支援を活用し、長く働けるよう企業と連携しサポートしていきます。



## ～作業班のご紹介～

### 清掃請負班

4月にニューフェース2人を加え、5人体制で事業所内外の清掃活動を日々行っています。4月からはや5か月を迎え、新人の利用者もだいが作業に習熟し、皆で協力し利用者が過ごしやすい環境づくりに精を出しています。また、3班で各月ごとに県道なつどもり線のゴミ拾いも行っています。



### リサイクル班

今年の夏は記録的な猛暑が続きましたが、暑さにも負けることなく皆さん元気に活動を行うことができました。飲料缶や段ボールなどの回収・分別・圧縮、生ごみ処理、薪作業などバラエティーに富んだ作業に取り組み、作業への習熟度が増したことで生産性向上につながっています。また、上半期に企業実習を通じて見事一般就労された方もおられます。私達と一緒に就労したい方、スキルアップを図りながら一般就労を目指す方、大募集です。随時、見学・体験も受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。



## 農産請負班

記録的な猛暑を乗り越え、今年も無事に稲刈りの時期を迎えました。穂を踏みつけながらサワサワと音を立てて風小僧たちが鬼ごっこを楽しむ光景を目で追えるのもあとわずかですが、豊かな実りに感謝して怪我や事故なく作業を進めて参ります。『自然を愛す！NiceなRiceでPeacefulなVives♪茂浦から飛び出す津々浦々♪食べれば当然あっちゅーま昇天♪今年も恵みにマジで感謝♪ / DJ Kome-0』な気分です、ハイ。

また、ホタテ養殖漁具の加工請負も今年はさらに大忙し！加工作業の請負を継続して頂けている状況です。これもひとえに農産請負班利用者ひとりひとりが、得意な分野を活かしながら頑張った成果が認められたものと嬉しく思っています。今後も我が平内町が全国に誇るホタテ養殖の一端を担う気持ちで心を込めて作業に取り組んでいきますので、今後とも宜しくお願い致します。



稲刈り風景



漁具カゴ加工

作業全景

**就労サポートセンターさつき 理念**  
地域社会と協調し、創造力豊かなサービスをとおして、働く喜びを分かち合います。

### 基本方針

- 1 障がいのある方の「働きたい」を支援します。
- 2 利用者の皆様と職員が協働し、全員が成長できる組織になります。
- 3 変化には変化で対応し、サービスの提供を継続します。
- 4 小さな発想を大きく議論し合う、多角的な視点を持ちます。
- 5 まず実行することで信頼を得られる努力をします。
- 6 地域の伝統や産業と協調して地域活性化に貢献します。



## 大運動会（地域交流）



7月29日（土）、平内町町長、町議会議員、地域住民の皆さんを招いて地域交流の一環として「大運動会」を開催いたしました。今年も天候が心配されていましたが、好天に恵まれ、青空のもとで楽しく開催することができました。

利用者の皆さんは、日ごろの練習の成果を存分に発揮し、県立保健大学のボランティア学生の皆さんの協力を得て盛会のうちに終えることができました。

来年も皆さんに楽しんでもらえる種目を準備してお待ちしております。



### 実施事業（令和5年11月1日現在）

- ・就労支援移行支援事業 定員 6名 現員 8名
- ・就労定着支援事業
- ・就労継続支援B型事業 定員 20名 現員 32名
- ・放課後子ども教室推進事業（ひらなすこやか教室）
- ・すこやか生活塾事業

**合計 40名（男性 33名 女性 7名）**



### 編集後記

今回は、今年度半年間の活動状況の報告となりました。関係機関の皆様のご理解とご協力の下で事業を推進できていることを改めて感謝いたしております。今後も当事業所の活動を発信し、就労を希望される方の利用につなげて皆さんの社会参加の後押しができればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。（担当：今村）

★サポセンホームページはこちらから★ <http://www.syusapo.com/>

掲載の写真は、全て利用者の同意をいただいて掲載しております。